



# 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファポリス

コード番号 9467 URL <http://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理部部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,842	—	528	—	507	—	332	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	79.61	—
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成27年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	4,176	—	3,116	—	74.6	
26年3月期	2,054	—	1,076	—	52.4	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,116百万円 26年3月期 1,076百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,611	27.6	760	17.6	740	14.9	476	21.1	109.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- ※ 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。  
 ※ 1株当たり当期純利益は公募株式数(675,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(168,700株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	4,843,700 株	26年3月期	4,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	4,175,439 株	26年3月期3Q	— 株

(注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、期末発行株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策や日本銀行による大規模金融緩和策の継続、米国経済の堅調な回復などを背景に円安・株高となり、輸出産業を中心に企業業績の改善を見せております。しかしながら、足元では急激な円安による個人の消費マインド低下の懸念や新興国を中心とした海外景気の下振れリスクの高まりなどを要因として、先行きが不透明な状況となっております。

当社が属する出版業界におきましても、依然として厳しい状況が続いており、出版科学研究所によると、平成26年の出版物推定販売金額は1兆6,065億円となり、前年比4.5%減となっております。その内訳は、「書籍」7,544億円（前年比4.0%減）、「雑誌」8,520億円（同5.0%減）となっております。特に「雑誌」が厳しい状況にさらされております。一方、インターネット発の出版物は、縮小する書籍市場内においても、引続き好調に推移しており、そのビジネスモデルに対する市場の注目度は高まっております。

このような環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、編集部員の強化によるインターネット発の書籍化及びその漫画化の加速に加え、インターネット上に点在する良質なコンテンツの更なる確保にむけ、当社Webサイトの全面リニューアル等を筆頭に、ユーザーにとってより利便性の高いサイト作りに積極的に取り組んでまいりました。これらの活動の結果、当第3四半期累計期間における、出版点数は252点（前年同期比61点増）、新規Web連載漫画本数は18点（同4点増）、及びWebコンテンツ登録数は3,026点（同667点増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,842,533千円となりました。また、当第3四半期会計期間においては、東京証券取引所マザーズ上場に伴う費用及び本社移転に係る費用等の一時的な費用を計上いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の営業利益は528,010千円、経常利益は507,438千円、四半期純利益は332,422千円となりました。

なお、書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

#### ① ライトノベル

当第3四半期累計期間における刊行点数を130点（前年同期比22点増）に増加させたこと、及び当社主力書籍「ゲート」のアニメ化発表に伴い、関連書籍の売行きが好調に推移したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

#### ② 漫画

当第3四半期累計期間における刊行点数を、前度同期比11点増となる18点に増加させたことに加え、当第3四半期会計期間に新たに刊行した「弱虫リザウンド」、「ワールド・カスタマイズ・クリエイター」、「勇者互助組合 交流型掲示板」、及び「強くてニューサーガ」は何れも発行部数約2万部となるヒット作となり、業績を牽引いたしました。

また、当社Webサイト上におけるWeb連載漫画化も順調に推移しており、当第3四半期累計期間では、新たに18本のWeb連載を開始し、当第3四半期会計期間末のWeb連載漫画本数は34本（当該本数には、当第3四半期累計期間に連載開始した「短期連載」作品を含む。）となりました。特に、当第3四半期会計期間において、新たに連載を開始した作品には「THE NEW GATE」や「異世界でカフェを開店しました。」など、最新話の更新日には、1日で約1万人超の読者に閲覧されている作品（注）も数多く含まれており、今後の更なる成長の布石を打つことができました。

（注）当社主力書籍「ゲート」の場合、最新話の更新日には、1日で約2.2万人の読者が閲覧しております。また、同書籍を書籍化した場合の、発行部数は約7.5万部となっております。

#### ③ 文庫

男性向けライトノベルの文庫版として、第2四半期会計期間に創刊した「アルファライト文庫」からは、毎月堅調に一定のラインアップが刊行でき、かつ、売行きも安定的に推移したことにより、業績の下支えとなる実績をあげることができました。

#### ④ その他

第1四半期会計期間及び第2四半期会計期間で刊行した当社人気の一般文芸作「居酒屋ぼったくり」1巻、2巻の売行きが引続き好調であり、当ジャンルの業績を向上させる結果をあげることができました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ2,053,704千円増加し、4,084,253千円となりました。これは主に、東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資等による現金及び預金の増加（前事業年度末比1,655,652千円増）、及び売上高の増加に伴い売掛金が増加（前事業年度末比364,812千円増）したことによるものであります。また、当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べ68,535千円増加し、92,666千円となりました。これは主に、投資その他の資産が増加（前事業年度末比54,332千円増）したことによるものであり、その主な要因は本社移転に係る敷金の支払いが発生したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ93,688千円増加し、965,443千円となりました。これは主に、法人税等の支払いに伴い未払法人税等が減少（前事業年度末比119,063千円減）する一方で、売上高の増加に伴い返品調整引当金（前事業年度末比76,823千円増）、買掛金（前事業年度末比33,950千円増）、及び未払金（前事業年度末比89,206千円増）が増加したことによるものであります。また、当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ11,520千円減少し、94,696千円となりました。これは全て、借入金の返済に伴い長期借入金が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ2,040,071千円増加し、3,116,780千円となりました。これは、東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資等により資本金の増加（前事業年度末比853,824千円増）、資本剰余金の増加（前事業年度末比853,824千円増）及び四半期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金の増加（前事業年度末比332,422千円増）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年10月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在においてに入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想の数値に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	712,252	2,367,905
売掛金	1,189,469	1,554,281
製品	68,399	108,650
仕掛品	11,682	8,925
その他	48,744	44,490
流動資産合計	2,030,549	4,084,253
固定資産		
有形固定資産	1,477	15,680
投資その他の資産	22,653	76,985
固定資産合計	24,130	92,666
資産合計	2,054,679	4,176,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56,436	90,387
1年内返済予定の長期借入金	71,040	53,396
未払金	216,601	305,807
未払法人税等	172,338	53,274
賞与引当金	10,521	21,885
返品調整引当金	312,814	389,637
その他	32,002	51,055
流動負債合計	871,754	965,443
固定負債		
長期借入金	105,226	93,706
繰延税金負債	990	990
固定負債合計	106,216	94,696
負債合計	977,970	1,060,139
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	863,824
資本剰余金	—	853,824
利益剰余金	1,066,708	1,399,131
株主資本合計	1,076,708	3,116,780
純資産合計	1,076,708	3,116,780
負債純資産合計	2,054,679	4,176,919

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	1,842,533
売上原価	589,786
売上総利益	1,252,746
返品調整引当金戻入額	312,814
返品調整引当金繰入額	389,637
差引売上総利益	1,175,923
販売費及び一般管理費	647,912
営業利益	528,010
営業外収益	
受取利息	100
中小企業倒産防止共済前納減額金	66
その他	11
営業外収益合計	177
営業外費用	
支払利息	1,210
株式公開費用	18,207
その他	1,331
営業外費用合計	20,750
経常利益	507,438
税引前四半期純利益	507,438
法人税等	175,015
四半期純利益	332,422

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年9月26日及び平成26年10月10日開催の取締役会決議に基づき、有償一般募集による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ683,100千円増加しております。また、平成26年12月2日付でオーバーアロットメントによる売出しに関連して、大和証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ170,724千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ853,824千円増加し、当第3四半期累計期間末において資本金が863,824千円、資本剰余金が853,824千円となっております。